

ダークJAPAN

の

歴史

#1

ダーク
JAPAN

- ・ **YAMATO** (俺)
- ・ **KOGA**
- ・ 遼
- ・ **TAIGA**
- ・ **BLANKEY**
- ・ **B×B**ハルク
- ・ **KINGU**

次回予告

第四章：再結成

第五章：ダークJAPANプロレスリング始動開始

第六章：メディア化

11月10日発売

結成

俺はYAMATO。そうこれから結成されるダークJAPANのリーダー。

それは2012年2月の中旬のことだった。

俺とKOGAは「BloodWarriors」というコミュに所属していた。

でも俺たちはそこで不満を抱えていた。

理由は一緒のコミュに所属している、ある二人のことだった。

一人の名前は「BxBハルク」

そいつは新入りのくせに俺とKOGAの上司みたいだった。

そしてもう一人は「KINGU」

そいつは名前の通り偉そうだった。

そして俺たちは不満を抱えたままいた。

ある日、俺とKOGAはコミュで出会った。

二人でしばらく話していると一つの共通点があった。

それはさっき言った通り「不満」だった。

そしてまたしばらく話しているとこんな話が出てきた、

「俺達で新しいコミュを作ろう」

二人とも納得し新ユニット”ダークJAPAN”が誕生した。

それを見ていたハルクとKINGUは批反的だった。

「それなら対抗してやる」

そう言って二人は去った。

第二章に続く...

ダークJAPANが結成され、新たな一步を踏み出した時だった。

いきなり「BloodWarriors」が仕掛けてきた。

このころはまだプロレスをしていなかったから”口の言い合い”で戦った。

相手は強かった。ああいうとこういうの続けだった。

でもその争いで”友情”ということの素晴らしさを知った。

俺とKOGAは最初はすれ違っても両者無視だった。

たとえどちらかがやられていても

でも出会ったあの日から俺たちの関係が全て変わった。

無視をしていたのがその日から互い助け合うようになった。

まさに”ONE For ONE”だった。

対抗戦の時もそうだった。

俺が何度もやられた、でもKOGAは何があっても俺を後ろからフォローしてくれた。

そのおかげで勝てた。

その戦いは何度も続いた。

いつも同じ結果だった。

ハルクは懲りて俺たちと仲直りした。

KINGUはいまだに行方不明だ。

それもこれもすべてKOGAがいてくれたからだ。

「KOGA、ありがとう」

二人はこれからも歩き続けてゆく。

第三章に続く...

ある日、YAMATOは親しい友人と話していた。

その人は女の子でちょっと変わっていた。

その子からメッセージがきた。

内容は

「ダークJAPANに入れて」

一度悩んだがいいだろうと入れた。

その子は変わってるから何かあるかと思ったが数日間は何もなかった。

安心したその時一通のメッセージが来た。

いやな予感がした。

内容は

「私をリーダーにして」

予感ハ的中した。

一度は断った。でも断れなかった

そこから全てが動いた。

俺とKOGAから始めたダークJAPANの全ての記憶が消された。

いやな予感がした。予想外なことが起きた。またもや予感的中。

なぜか俺とKOGAがリーダーからただのメンバーになっている。

何かがおかしい。きずいた時には遅かった。

すでに乗っ取られていた。

俺とKOGAと新入りの遼は黙っていられなかった。

仲直りしたハルクを加え四人で説得をしにいった。

するとこう言われた。

「逆らったら追放する」

その言葉が胸に響いた。

数日間黙っていた。

でも俺は馬鹿な事をした。

暴走しているあいつに言ってしまった。

「ここから出ていけ」

そういうとあいつは消えた。

勝ったと思った瞬間あいつが現れた。

そして言った。

「追放したから」

メンバーを見てみると俺がいない。

そしてあいつが

「逆らうから悪いんだよ」

そう言って去った。

俺たちは黙ってられず2号（現・ダークJAPAN本部）を作った。

でもまだあいつの暴走は止まらない。

第四章に続く...